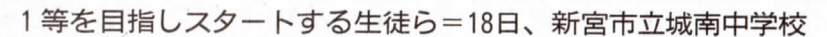


新宮、那智勝浦、太地で体育祭



『令和』を胸に」をスローガンに掲げた。吹奏楽部の演奏で開会し、船井校長が「一人一人、仲間と協力して全力で競技に取り組んでください」とあいさつ。尾崎玄多君（3年）の選手宣誓の後、学年や個人対抗でリレー、

短距離走などの競技で得点を競った。和歌山国体ダンス「明日へと」の披露もあった。同町の色川中学校は秋に開催する。

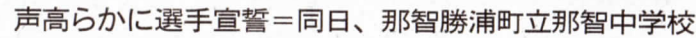
町立太地中学校（山田貴也校長、生徒53人）は、「新たな令和を翔けぬけろ!!!」新元号は優勝であります」をスローガンに掲げ、学年縦割りの3ブロックに分かれて得点を競った。生徒たちはブロックごとに赤・青・黄のオリジナルTシャツを着用。開会式で各ブロック長の中村友飛君（3年）、奥村行正君（同）、由谷豪太良君（同）が「見る人に感動を与えられるよう、がむしゃらに頑張ります」と力強く宣誓した。生徒たちは短距離走や三方綱引きなど、さまざまな種目で熱戦を繰り広げた。

（泉 真子、榮本康人、石田幸子）

（泉 真子、榮本康人、
石田幸子）

選拔生徒による60呎走、80呎走で幕開け。借り物競走や騎馬戦、大縄跳びなどさまざまな種目に取り組んだ。競技中ではない生徒は、各クラスの趣向を凝らした手作りの旗やうちわで仲間へ声援を送り、保護者や地域住民も生徒が真剣に競技に取り組む姿を見守った。

町立那智中学校（船井洋二校長、生徒154人）では「踊れ！走れ！はしゃげ！〜僕らの新時代



28日、新宮市仲之町のロッコ

濱口さんは同市三輪崎出身。勤務医や介護職員の不足、地元開業医の高齢化などで厳しい状況に陥る可能性が高い当地方の医療、介護の現状について話す。問い合わせは森さん（電話090・8956・6108）まで。

・忌明・法事等パック料理 3,200円より

